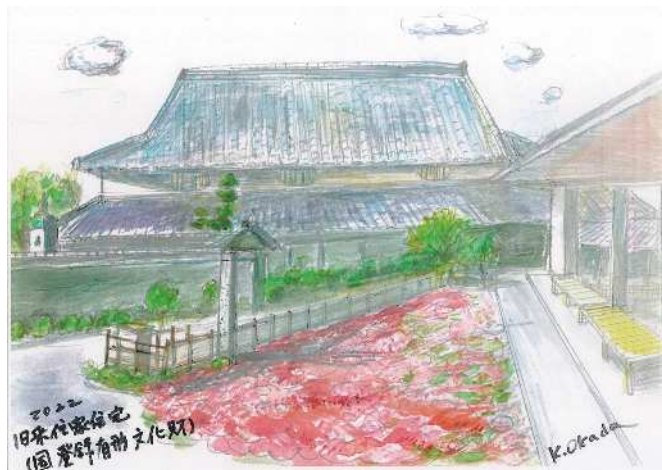


# 西脇市の祭り



にしわき しょうがっこう くに してい じゅうよう ぶんかざい  
西脇小学校(国指定重要文化財)



きゅうき し け じゅうたく くに どうろく ゆうけい ぶんかざい  
旧来住家住宅(国登録有形文化財)

## 市指定無形民俗文化財

### みょうかくじ 妙覚寺 ワラワラ



(西脇市観光協会提供)

とし はじ がつよつか おこな ごこく ほうじょう  
年の初め1月4日に行われる「ワラワラ」は、五穀豊穰※1  
いの ぎょうじ そうりよ どつきょう あいだ ふじ つる ほんどう  
を祈る行事です。僧侶が読経する間に、藤の蔓で本堂の  
えんがわ つる さくもつ  
縁側をたたき、蔓がバラバラになればなるほど作物がよく  
できるとされています。その音は雷の音で、雨乞い※2をす  
るとともに 悪霊※3を追い払うとされています。

※1 五穀豊穰:農作物が豊かに実ること

※2 雨乞い:雨を降らすためのお祈り

※3 悪霊:人に害をあたえるもの

いつ : 1月4日  
どこで : 西脇市市原町576

※駐車場・トイレは、鍛冶屋線市原駅記念館を利用ください



ちょうめいじ よりまさまつり  
**長明寺 「頼政祭」**



(西脇市観光協会提供)

ちょうめいじ たかまつちょういったい みなもとよりまさこう しよりょう  
 長明寺のある高松町一帯は源頼政公の所領※1であ  
 よりまさまつり ゆみや たつじん かじん し へいあん  
 り、「頼政祭」は弓矢の達人で歌人としても知られる平安  
 まつき ぶしょう よりまさこう かいさい まつ どう  
 末期の武将・頼政公をしのいで開催されるお祭りです。当  
 じつ はか さんばい ようかい い と でんせつ  
 日は、お墓の参拝や、妖怪ヌエを射止めたという伝説にち  
 ゆみ れいしゃ ぎんえい けんぶ ひろう ゆみ  
 なんだ、弓の礼射や吟詠・剣舞などが披露されます。弓の  
 れいしゃ じもと きゅうどうぶ がくせい まと いぬ  
 礼射では地元の弓道部の学生がヌエを的に射抜きます。

しよりょうしはい とち  
 ※1 所領:支配している土地

いつ : 4月29日  
 どこで : 西脇市高松町600



県指定無形民俗文化財

いそがみじんじゃ しんじ  
**石上神社 なまずおさえ神事**



(西脇市観光協会提供)

「なまずおさえ神事※1」は、天文11(1542)年に現在  
 ち じんじゃ うつ まえ しんでん ほうのう しらさや ほう  
 地に神社を移す前に、神殿に奉納されていた白鞘の宝  
 どう ぬす じもと さが かいしゅう しんでん ほうのう  
 刀※2が盗まれたため、地元で探して回収し、神殿に奉納  
 しろうとした瞬間、宝刀が大ナマズに変わったことから、  
 しんばつ おそ ほうのう さが おこな  
 神罰※3を恐れて、宝刀を探すふりを行うようになったこと  
 はじ はか さんばい ようかい い と でんせつ  
 から始まったとされています。秋祭りの夜に行われる神事  
 は「シュウシ」と呼ばれる直会※4と、土俵での「なまずおさ  
 え」、「相撲」の3部構成で行われます。

しんじ かみさま かん ほうとうたからもの たいせつ かな  
 ※1 神事:神様に関するまつりごと ※2 宝刀:宝物として大切にしている刀  
 しんばつ かみさま くだ ぼつ なおらい しんぜん そな さげ  
 ※3 神罰:神様から下される罰 ※4 直会:神前に供えたお酒をいただくこと

いつ : 10月 第2日曜日  
 どこで : 西脇市板波町4  
 ※駐車場は、神社東側 板波町公民館前



# 八幡神社 お笑い神事



(西脇市観光協会提供)

とうにん くろぬ はっかくぼう ひだりて みぎて はく  
**頭人**※1が黒塗りの八角棒を左手でかつぎ、右手に白  
 せん ひら も ちょうちんも みぎて はくせん ひら  
 扇を開いて持ちます。提灯持ちは右手に白扇を開いて  
 も かくちょう とうにん うし せんいん はくせん じょうげ  
 持ち、各町の頭人の後ろにつきます。全員で白扇を上下  
 させながら「笑え、笑え、アッハッハー、アッハッハー」と声  
 たか わら はいでんない かい つぎ とうにん  
 高らかに笑いながら、拝殿内を3回まわります。次に頭人  
 とうざい わ て あ ひ お す  
 が東西に分かれて、手のひらを合わせて引き押しの相  
 もう おこな ほうさく いの  
 撲を行い、豊作を祈ります。

※1 頭人:集団の長、頭

いつ：10月 第2日曜日  
どこで：西脇市下戸田626-3



# 兵主神社 秋祭り レッケイ



(西脇市観光協会提供)

だいまようぎうれつ も みこし とぎよ だい ふ  
 大名行列を模したレッケイや神輿の渡御※1、5台の布  
 とん や ね だいこ ね にぎ  
 団屋根太鼓の練りこみで賑わいます。  
 ぎょうれつ さるたひこ てんぐ せんとう つづ ほこ つぎ はきみばこ  
 行列は、猿田彦(天狗)を先頭に、続いて鉾、次に挟箱※2、  
 たてがさ だいがさ けやり ゆみや てっぽう なぎなた も つづ つ  
 立傘、台傘、毛槍、弓矢、鉄砲、長刀を持って続き、次いで  
 みこし さるたひこ ごへい ふ じゃま ほん  
 神輿となります。猿田彦が御幣を振って邪魔なものを払い  
 きよ やつうた はじ たびぎょうれつ すす ぎょう  
 清めながら、奴唄※3の始まりとともにお旅行列が進む行  
 じ  
 事です。

- ※1 渡御:神輿が神社を出て回ること
- ※2 挟箱:衣類などを入れ、棒を通して担ぐ箱
- ※3 奴唄:行列の槍持ちや長持、挟箱などをもち歩く下級武士奉公人の奴の唄

いつ：10月 第2日曜日  
どこで：西脇市黒田庄町岡372-2

